



我がハリストスよ、
爾は血漏を患うる婦を爾の衣の裾に捫るを以て醫せり。
信を以て爾の仁慈に捫る我をも諸慾より醫して、健なる者と爲し給え。



仙台正教会
教会だより

2020年
11月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四二〇
TEL(022)225-2744
FAX(022)24-3080
<http://www.sendai-orthodox.jp>
orthodox@hyper.ocn.ne.jp

ハリストスは、当時のユダヤの風習に従って上着と下着の二枚の衣服を身につけていた。下着はギリシヤ語で「キトン」という袖のある長い衣で、上着はギリシヤ語で「イマテイオン」といい、「キトン」の上から羽織っていたものだった。そのため、イコンの中のハリストスもキトンとイマテイオンを着ている。よく見ると、内側のキトンは赤い色、外側のイマテイオンは青緑である。赤は、血の色、生きている人間の色、ハリストスの人間性を表し、青は、空の色、天の色、ハリストスが天から来られたこと、すなわちハリストスの神としての性質、神性を表している。

さて、ハリストスが着ていた「衣服」が一つのテーマとして注目される箇所がある。それが第24主日に読まれる福音書である。

十二年間も長血（血漏）をわずらっていた女性が、群衆がひしめきあう中をかくぐり、うしろから近寄ってハリストスの衣の裾にさわったところ、その病が

たちまちいやされた。

うしろからそっと隠れてハリストスの衣の裾にさわった彼女は、なんと控え目で謙遜なのだろう。しかしまた彼女ほど大胆な者はいない。旧約の律法によれば、長血という病気の者は汚れた者とされ、隔離されるべき存在であった。そんな彼女が群衆の中に入ってハリストスに触ったのである。

私たちも、彼女にならって控え目に、そして且つ大胆にハリストスの衣にさわろうではないか。「控え目に」とは、謙遜さと敬虔な気持ちを忘れずに、という意味。「大胆に」とは、自分をしばっている状況から一歩前に踏み出して、ハリストスにいやしを、救いを強く求める、という意味。

長血の女が触れたハリストスの衣の裾は、厳密にいえば、神性を表すイマテイオンの裾だった。つまり「ハリストスの衣の裾に触る」とは、本来、触れることのできない神様としての性質に触る、ということ。私たちには神性にあずかることのできる証として御聖体がある。ハリストスの尊体尊血をいただくことはハリストスの衣の裾に触ることと同じである。長血の女のようにハリストスの衣にさえ触れたら神様はきっと自分を改善してくれると信じる信仰をもとう。(D)

セラフイム大主教座下のご動静



セラフイム大主教座下は10月10

日(土)から14日(水)まで東京に滞在さ

れた。11日(日)は主日聖体礼儀、14

日(水)には生神女庇護祭の聖体礼儀

をご司持された。また13日(火)には

主教会議に臨まれ、事務局長から

諸事項の報告を受け、ダニイル座

下と協議検討された。東京はいまだ新型コロナウイルス感染者の増減を繰り返しており、聖堂内での感染予防に努めている。



▲ 主日聖体礼儀 小聖入



▲ 生神女庇護祭 徹夜祈



▲ 生神女庇護祭 聖体礼儀 大聖入

東北ブロック宣教会議

10月15日

(木)、一関ハリ

ストス正教会

において、東

日本主教教区

東北ブロック

の宣教会議が

開かれた。宣

教委員9名全

員が集まり、

さまざまな事

項について話し合った。報告事項とし

て、コロナ禍を考慮した教団よりの特別

交付金が各教会に支給されたことが挙げ

られた。また教区出版物として宣教ブッ

クレット⑥「天のパン」が発刊されたこ

と、今後の予定として「天と地の間」

(イオアン長屋神父翻訳)の再版、「正

教会用語小辞典」および「教会マップ」

の作成が確認された。そして「教区

報」、「播かれた種」、「宣教献金のお

願い」について検討した。



聖歌隊より



ようやく秋も深まりを見せ始め、朝晩の冷え込みも本格的になってまいりましたが、皆様体調はいかがでしょう？ 聖体礼儀の際に四声で歌う新たな方式も少しづつ体制が整いつつあるようには感じますが、引き続き改良を加えていきたいと思えますので、皆様のさらなるご意見ご要望等お寄せ下さい。さて、今後の予定をお知らせします。

一、聖歌隊の総会について

開催されぬままになっております総会ですが、11月中がリミットではないかということで11月8日(日)に開催する予定といたします。その際、お弁当を出来るだけ無言で食べ、その後、話し合う時には換気をしつつマスク着用で行うこととします。総会の資料は事前に皆様にお渡ししておき、その上でご質問をお受けする形にして時間の短縮を図りたいと思います。

二、今回増刷した楽譜について

聖歌隊員が一人一人離れて歌うために楽譜を増刷しましたが、2穴のリングファイルのため穴の補強が必要です。20冊もあるので、かなり時間のかかる作業です。ご協力いただける方にお手伝いをお願いします。

三、飛沫飛散について

マスク、フェイスシールド、マウスガードの飛沫予防効果の比較研究が理研や神戸大学などから発表されました。それによると防止効果はマスク92%、フェイスシールド49%、マウスガード46%だそうです。どれをお使いになるにせよ、一〇〇%の効力があるものではありませんので、その時々々の状況に合わせて使い分けていただければと思います。

(ニコライ本多弘明)



人物往来

10月25日(日)、駐日ポランド大使館の姉妹台座敷に、旅行の途中に参拝されたミナ姉は、日本企業に就職された方である。

婦人会より

清々しい秋晴れがつづく日々、皆様いかがお過ごしでしょうか？

今年はコロナウイルスでバザーも中止になり寂しく思っていた矢先、婦人会長もされたマルファ遊佐ひでよ姉が永眠されました。ひでよ姉とは婦人会行事の教会訪問で大阪教会をはじめ、京都、横浜、釧路など9ヶ所をご一緒しました。また、車椅子で岩谷堂、遠野や佐沼教会の成聖式にも参拝されました。何事にも積極的で明るく引張ってくれるひでよ姉にどんなに助けられたことでしょうか。バザーに着物のリメイクを取り入れたのもひでよ姉でした。ひでよ姉との出会いに感謝し心より永遠の記憶と安息をお祈り致します。

日毎に寒さが加わる季節、どうぞご自愛下さい。
(マリヤ永元道子)



エレベーターの劣化のため10月1日と23日に取替工事が行われた。

白河正教会だより



10月17日(土)、18

日(日)にかけて、水口神父が白河正教会を巡回し、徹夜禱と聖体礼儀を行った。

また、先日永眠されたアンフイム平澤敏雄兄の40日祭の記憶としてリテイヤが祈られた。昼食を

とった後、学びの時間として、アダムの陥罪をテーマに神父よりお話があった。その中で、罪を犯したとしても、まだ我々は「神の像」をkarouうじて保持していることが強調された。

11月1〜3日に、白河市内で「風月の芸術祭一祈り」(市共催、県後援)が開催される予定で、白河教会も聖堂一般公開を行います。また3日(火)には、11時と13時30分に、水口神父によるイコンをテーマとした特別講話が行われます。

中新田正教会だより

代式祈禱



10月11日(日)、中新田正教会において代式祈禱が行われ、祈禱後の集会の中で、諸聖人のイコンのストラップ作りと蝋燭受け皿の作成が行われた。ストラップに関してはエリザベータ寺嶋リーザ姉の指導を受けた。

収穫祭

10月24日(土)、25日(日)にかけて、水口神父が中新田正教会を巡回し、晩課と聖体礼儀を行った。聖体礼儀と月例パニヒダについて毎年恒例の「中新田正教会収穫祭」が開催され、まずは感謝祈禱(モレーベン)を祈った後、今年収穫された初穂を成聖し、神への感謝をささげた。参拝者は20人。祈禱後は、境内でバーベキューをして懇親

を深めた。今年はコロナ禍の中にあつて開催も躊躇されたが、晴天にもめぐまれ、注意を払いつつ、大いに感謝の念を強くした収穫祭となった。



「アウラアムの懐」

長司祭 ダヴィド水口優明

「パニヒダ」の中で、我々は永眠者のために「アウラアム、イサク、イアコフの懐に数え置かるるがために主に祈らん」、また「アウラアムの懐に安んぜしめ：給え」と祈る。

「アウラアムの懐」とは「天国」と同義語である。それは、有名な「貧しきラザリと金持ちの譬」という譬話に根拠を持つ。贅沢三昧に暮らしていた金持ちの家のそばに、病気で苦しみ貧しきで飢えていたラザリがいた。金持ちは、死後、地獄の苦しみに悩まされ、ラザリは天使たちに導かれ「アウラアムの懐」に送られた。(ルカ 16…19)。

しかし、旧約時代にも「このようにして死ぬ我々を、アブラハム、イサク、ヤコブなどのすべての父祖たちは(その懐に)受け容れ、称賛する」(第四マカベア 13…17)と言われているお

り、またユダヤの伝説では、「我が友アブラハムを楽園に連れて行け。：我が聖人たちであるイサクとヤコブの住まいが、彼の懐にある。そこでは、苦しみも、悲しみも、嘆きもなく、ただ平和と喜びと終わりのなき生命がある」という言



葉もあり、かなり古い慣用句であることがわかる。

アウラアムとは、神を信じて旅をし神の約束を信じて人生を生き「信仰の父」であり、私たちの信仰における「先祖」である。私たちの救いの歴史はアウラアムから始まる。彼に対する「あなた

によってすべての民が祝福を受ける」という神の約束は今でも続いている。

「アウラアムの懐」の「懐」とは文字通りには、胸とかお腹のあたりを指すが、聖書の中では、愛に満ちた家族関係を意味する。例えば、「親が乳児を抱くように彼等を懐に抱いて：行け」とモイセイが神様から命令されている。また「あなたの懐の妻」とか「子羊を懐に入れて娘のように養い育てる」という箇所もある。子供が親の懐で安らかにしあわせにしている状態、そのような安息と祝福に満ちた喜びを「アウラアムの懐」は表現している。

私たちの信仰の目的、それは信仰の父アウラアムの懐に抱かれる子供になる、ということ。だからこそ、この人生をすでに終えた永眠者たちのために、今こそその目的を達成させてほしいと強く願って「アウラアムの懐に安んぜしめ：給え」と祈るのである。

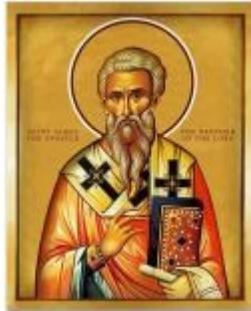
降誕祭関連のご案内

- ❶ クリスマスツリー電飾を境内のモミの木に設置する作業を11月29日(日)の祈祷後に行います。たくさんの奉仕者が必要となります。ご協力をお願いします。
- ❷ 聖堂清掃(おみがき)を12月20日(日)に行います。ぜひご奉仕ください。
- ❸ 新型コロナウイルスの影響を鑑みて、降誕祭祝賀会は中止といたします。また、イブ祈祷後のふるまいも中止とします。
- ❹ 降誕祭祈祷は、12月24日(木)、25日(金)に行われます。

11月聖名日 モレーベンのご案内

11月1日(日)聖体礼儀後

11月の聖名日モレーベンに該当する方々の一覧です。



▲主の兄 聖使徒イアコフ



▲廉施者 聖ダミアン

聖名日	聖名	氏名(敬称略)
11/2	アルデミイ (アンティオキアの聖大致命者)	針生晶朗
11/5	イヤコフ (聖使徒)	道家和夫、横山 渉、若松勝也
11/8	デイミトリイ (フェサロニカの大致命者)	小野嘉耶、小幡楠城
11/9	カペトリーナ (聖致命女)	早坂美穂
11/11	アナスタシヤ (ロマの聖致命女)	大槻和恵
11/12	ジノビヤ (キリキヤの聖致命女)	遠藤宏美
11/14	ダミアン (メソポタミアの奇蹟者廉施者)	岡 潔、遠藤正義
11/14	キリエナ (聖致命女)	小堀彩華
11/20	ラザリ (ガリラヤの克肖神父)	小野寺洋
11/24	ビクトル (ロマの聖致命者)	土田貴一郎
11/25	イオアン (コンスタンチノーブルの大主教金口)	高橋哲郎輔祭、勝又良樹
11/26	マネファ (カッパドキヤ・ケサリヤの聖致命女)	鈴木いく子
11/29	マトフェイ (聖使徒福音者)	針生勝通、横山毅、土田定克、佐々木隆

執事会報告

令和2年10月4日(日)

12時40分～14時20分 3階会議室

一、報告事項

- ・ 9 / 10 会館の蛍光灯を調査しペラペラを除くすべてがPCB不使用と判明。
 - ・ 9 / 11 消防署立ち入り調査があり、すべて良好との返答がなされた。
 - ・ 9 / 23 水揚げポンプ取替工事と地下水槽・高架水槽の清掃が行われた。
 - ・ 10 / 1 エレベーターのロープ取替工事 (10 / 23 にも残りの工事予定)
 - ・ 会計報告 一般 / 収益
- コロナ禍に対する特別給付金が納付された。

二、協議事項

(1) 七五三モレーベン

お菓子セットを7袋ほど用意する(担当…太田姉、山中姉)。専用の袋を水口神父が用意する。

(2) 仙台共同墓地への納骨について

- ・ 遊佐ひでよ姉、10月31日の40日祭後、納骨予定。
- ・ 安永ゆり姉のご両親(二階堂)の改葬

予定(来年3月頃)。なお、改葬ということを検討して一体分の契約金で可とすることを執事会で承認した。

(3) 降誕祭について

- ・ クリスマスツリー電飾設置(樅木)を11月29日(日)に方舟会を中心に行う。
 - ・ 聖堂清掃(おみがき)を12月20日(日)に行う。
 - ・ 降誕祭祝賀会は中止とする。
 - ・ イブ祈祷後のふるまいも中止とする。
 - ・ 降誕祭祈祷は、12月24日、25日に通常通り行う。
 - ・ 今年はカードではなく、降誕祭の簡単なリーフレットを作成して配布する。
 - ・ 12月号の会報に献金袋・振替用紙を同封する。
- 三、その他
- ・ 会館の外階段の一部が腐食している。金属溶接を奉仕してくれる信徒に相談する。
 - ・ 今年は、バザーを中止するので、福祉寄付金はしないことを確認した。



献金報告

(2.9.28～2.10.25)

○聖堂内献金 五万八千五百七円

○感謝献金

三千円 渡辺ひろ子

○聖名日感謝献金

三千円 佐藤幾久子

○敬老感謝献金

一万円 遊佐咲郎・せつ

五千円 佐藤幾久子、早坂盤、八文字惣一、木村富喜子

三千円 高橋英俊、大立目謙朗

○会報献金

三千円 下田行孝、湊仁

○家屋成聖感謝

一万円 木村良治

○パニヒダ献金

二十万円 木村富喜子(七郎兄一年祭)

一万円 熊谷天津子、大立目謙直

五千円 熊谷憲一、笹川澄代、八文字惣一、木村良治

三千円 佐藤瑠都子、山田喜美雄、早坂盤、村井恵子、木村史之

二千円 大立目謙朗

一千円 永元道子、岡崎雄俊、古田直子、高橋ゆり、高橋嘉彦、小原淑子、千葉温

※敬称略

11月行事・奉事予定



31日(土) 主日徹夜祷 第4調 (17時)

1日(日) 第21主日聖体礼儀 (10時)

書札 ガラティヤ 2:16・20

福音 ルカ 8:5・15

※ 七五三・聖名日モレーベン

定例執事会

3日(火) 文化の日

11時〜13時30分

風月の芸術祭「一般公開記念特別講話

イコンのお話」(長司祭ダヴィド水口)

於:白河正教会生神女進堂聖堂

7日(土) 主日徹夜祷 第5調 (17時)

8日(日) 第22主日聖体礼儀 (10時)

書札 ガラティヤ 6:11・18

福音 ルカ 16:19・31

■月例:パニヒダ

◇ 婦人会・方舟会 / 聖歌隊総会

8日(日) 聖歌隊総会開催予定(会館3階)

※詳しくは3ページを参照ください。

8日(日) 中新田正教会・代式祈禱 (10時)



14日(土) 主日徹夜祷 第6調 (17時)

15日(日) 第23主日聖体礼儀 (10時)

書札 エフェソ 2:4・10

福音 ルカ 8:26・39

◆ ミニ講話 / 聖堂清掃奉仕の日

21日(土) 主日徹夜祷 第7調 (17時)

22日(日) 第24主日聖体礼儀 (10時)

書札 エフェソ 2:14・22

福音 ルカ 8:41・56

21・22日 水口神父白河出張

21日(土) 18時 主日徹夜祷

22日(日) 10時 主日聖体礼儀

28日(土) 主日徹夜祷 第8調 (17時)

29日(日) 第25主日聖体礼儀 (10時)

書札 エフェソ 4:1・6

福音 ルカ 10:25・37

※ クリスマスツリー電飾設置



28・29日 水口神父中新田出張

28日(土) 16時 勉強会 / 17時 夕時間 晩祷

29日(日) 10時 主日聖体礼儀

／月例:パニヒダ

11月の集会は以下のように予定いたします。

【婦人会・方舟会】→8日

【聖歌隊総会】→8日

【ミニ講話・聖堂清掃奉仕】→15日

【教会学校】→お休みします

【伝道会】4(水)、18(水)、25(水) (11(水)は休み)

祈禱は予定どおり行われます。コロナ禍の未だ治まらない中、状況を見ながら十分お気をつけてご参禱下さい。

七五三感謝祈禱のご案内

七五三の年齢に関係なく
ご参加ください。

日時: 11月1日(日)

主日聖体礼儀後

(聖名日モレーベンと併せて行われます)



教会よりプレゼントを用意しています。ぜひご参禱ください。

※ 会報に掲載されました写真でご希望のものがあればプリントいたしますのでご遠慮なくお申し出ください。